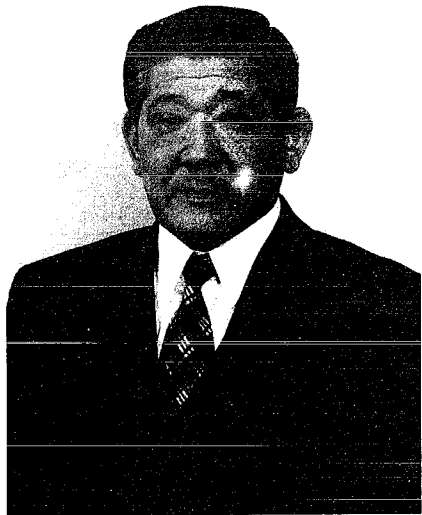


# 年頭のご挨拶



月潟村長 金子 由征

## 謹んで新年の

## 御祝詞を申し上げます

新年明けましておめでとうございます。村民の皆様は謹んで新春のお慶びを申し上げます。長引く経済不況のもと、国の景気対策や企業努力により経済に薄日が差してきたと云われており、ホッとすると同時にこの兆しが衰退することなく前進して行くことを先ずもって期待しております。

さて、昨年は喫緊の課題として取組んで参りました新潟市との市町村合併におきまして、ご案内のとおり田園型政令指定都市の早期実現を目指す決議を採択し、行政制度の調整をはじめ合併は新潟市への編入方式とする、12市町村長・議員は合併時に失職することなどの外、新しいまちづくりを進めるための「新しいがたまちづくり計画」を検討して参りました。

本村関係分では、月潟小学校の全面改築や西地区の農村振興総合整備事業などが盛り込まれ、合意いたしましたこととあります。

今後は、法律に基づいた新潟地域合併協議会に移行し、合併期日などの基本的な協議事項をはじめ、任意協議会で合意され、また、未合意分を含めた事項について改めて決定を行い、その上で12市町村の3月定例会議で最終的に市町村合併を行うための配置分合について議決を頂き、平成17年3月末までの合併を目指すこととしております。

ここにきて村が無くなることについて行政を預る私としては、極めて心苦しい気持ちではありますが、市町村の財政が危機的な状況におかれてい中で少子高齢化の進展に伴う地域福祉政策の推進や、生活関連社会資本の整備などが急がれる中、地域住民の幸せと将来の地域発展を考え、合併を決断いたしましたところでもあります。どうか村民の皆様からも特段のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

次に、平成16年度における事業の取り組みにつきまして主なものを述べてまいります。財政も極めて厳しい状況ではありますが、村として最後の行政運営となりますことから総仕上げと合併準備の1年間として位置付け、立村100周年記念事業の前倒し、閉村記念となる資料の作成、閉庁記念式典など閉村に花を添えつつも役場が変わる支所機能の充実を図り、輝かしい新潟市政へのスタートが順調に進むよう取組んで参りたいと考えております。

### 保健福祉(2017)

核家族化や女性の社会進出の進展など社会経済情勢の変化により年々少子化が進んでいます。乳幼児の医療費助成や保育園におけるゼロ歳児保育、延長保育、また小学校低学年を対象とした児童保育を充実しながら、保護者の皆さんが働きながら安心して子育てができる環境整備に努めて参ります。

一方、高齢化も年々進展し、人口に占める65歳以上の割合、いわゆる高齢化率は23%に達しております。生きていく間、誰もが住み慣れた地域で生きがいのある健やかな生活が送れるよう、介護予防や健康相談などの事業を通して健康寿命の延伸を図って参りたいと考えております。

そして、乳幼児期から高齢期に至るまで、それぞれの年代に応じた各種検診事業や保健事業の充実を図りながら、生活習慣病の予防や疾病の早期発見・早期治療に努め、住民の皆さんの健康維持を推進して参ります。

### 農業振興(2017)

昨年産米は、冷夏による影響で作柄は全国指数で90と10年ぶりの不作のなか、当村は幸いにもほぼ半年並の収入が確保できた事と、16年産米において生産調整が若干緩和され、ホッといたしておるところであります。

今年度は、平成14年12月に発表された「米政策改革大綱」とそれに伴う食料法改正により、生産調整の仕組みや流通制度等が大きく変わり、スタートすることとなります。

需要に応じた米づくりの推進は米を作らない配分から米を作る配分になり、売れる米づくりが強く求められております。また、従来の転作助成に代わり、地域の自主的判断で交付金の使途を決める「産地づくり推進交付金」

が創設されました。今後は各集落座談会等を通じて農業者や、関係機関の意見を賜り「地域水田農業ビジョン」の構築を「地域農業システムづくり」と結びつけて推進いたします。

また、引き続き大豆を中心とし、加えて果樹選果場が生まれ変わることで新たに果樹を転作の重点品目に加えて土地利用型複合営農を進め、中核的担い手農家の育成とともに特色ある産地づくりに取り組み、農業経営の安定化に努めて参ります。

### 商工振興(2017)

景気に明るさが広がり回復軌道に入ってきたといわれますが、依然として、地方経済の景気の足取りは重く、先行き不透明で個人消費の低迷も続いている状況にあります。

この状況を克服するため、商工業者の経営安定と発展を基本に据えながら、経営の近代化、合理化の推進、融資制度の充実等を商工会と連携をしながら、商工業の振興に努めて参ります。

更に、雇用の場を確保するため、企業誘致にも積極的に努力して参ります。

### 土木事業(2017)

事業着手4年目を迎える農村総合整備事業・曲通地区は、下曲通地区内における集落道及び、農道の整備、上曲通地区内における農村公園の整備に取り組んで参ります。

工事に着手して7年目を迎える下水道事業は、上曲通、西萱場地内を中心に管渠工事を進め、平成18年度に予定されている一部供用開始に備えます。

### 簡易水道(2017)

経営の健全化に向け一層努力しながら、安全で良質な安定供給を図るため、老朽管の布設替えを推進して参ります。

### 防災(2017)

合併後、白根地域広域事務組合が廃止され新市の中で新しい消防体制が組まれることとなっておりますことから、これらを視野に据えながら新体制の準備に努めて参ります。

### 教育(2017)

学校教育では、予てから月潟小学校の改築が懸案事項となっておりますが、市町村合併によって新・新潟市の発足が予定されている平成17年において、速やかに建設工事に着手できるよう、基本設計の策定作業を進めて参ります。

また、小・中学校には引き続き補助教員を配置し、各教科や総合的な学習の時間で、読み・書き・計算などの基礎・基本の確実な定着を図るとともに、生活体験、文化、スポーツ体験などを通じて自ら学び、自ら考える力を育てて参りたいと考えております。

社会教育では、公民館、図書館、陶芸館を地域住民の学習拠点として位置づけ、生涯学習を推進して参ります。

年頭にあたり、所信の一端を述べましたが、市町村合併で住民の皆様へのサービスが低下しないよう全力をあげて取り組んで参る所存でありますので、重ねてご理解を賜りますとともに、新しい年が皆様にとりまして幸多く輝かしい年でありますようご祈念申し上げます。

